

12. 理事会・評議員会／代表委員会主要な活動

理事会・評議員会の施策変遷(特記事項)

期	年度	会長名	特記事項	期末会員数	就任年月日(翌年の就任日が退任)
73	1995	田中 實	事務所を新宿から「信濃町煉瓦館」に移転、図書室の一般開放、特定公益増進法人認定(2年間)、評議員定数変更(186)、JSME-NET(本会ホームページ)開設(1996.3～)、創立100周年記念事業計画準備、総会講演会と全国大会の統合化策定	45,733	1995年4月1日
74	1996	阿部 博之	第4回ICOMES(世界機械系会長会議)東京で開催、PRビデオ「メカワールド」作成全国配布、日本機械学会誌A4判に変更し「メカライフ」を統合策定、臨時委員会「第二世紀将来構想実施計画委員会(木村好次主査)を設置、日本機械学会賞の名称・体系の変更、日本機械学会の標準規格作成事業の拡大(発電用設備規格制度)決定、創立100周年記念事業計画準備	45,672	1996年4月3日
75	1997	岡村 弘之	創立百周年記念事業実施、会誌別冊、用語CD、会員入会情報等の会誌掲載、校閲結果をホームページに記載、機械工学事典発行	45,262	1997年4月1日
76	1998	和田 明広	経費節減・事務所縮減策実施、第二世紀将来構想実施計画答申	44,213	1998年4月3日
77	1999	井口 雅一	定款大幅変更(目的、会員種別、社員は評議員へ、理事2年任期制、筆頭副会長制度、理事の増員(広報理事)、部門選出評議員制度、事務局の記載)、倫理規定制定、フェロー制度制定、年次大会・総会分離、全国廃止	42,953	1999年4月5日
78	2000	棚澤 一郎	広報・情報部設置、JABEE活動開始一本会協力、行事事告掲載有料化でHPヘビツ(6月-)、機械振興事業寄付制度開始、フェロー第1回認定	41,644	2000年4月6日
79	2001	小林 敏雄	工学教育センター、技術開発支援センター準備室、執筆要綱のWEB移行(出版物の中止)、教育賞設置	40,383	2001年4月5日
80	2002	伊東 誼	会誌、論文集、Journalの保存図書を電気図書館へ寄贈し一般公開、NII「電子図書館」等へ分散保管、WEBサーバーをNTTATへ、バナー広告実施、インフォメーションメール、JSMEテキストシリーズ創刊	39,158	2002年4月8日
81	2003	田中 重徳	工学教育センター、技術開発支援センター発足、日本機械学会の講演会等における講演申込み等への対応指針、スポンサーJAPANに採択、Inter-Journalの電子出版促進(U-STAGE)、フェロー賞、船井賞設置	38,525	2003年4月12日
82	2004	長島 昭	WEB認証、CPDカード、会誌付録ニュース、計算力学技術者認定事業開始、機械状態監視診断技術者認定事業開始、フライングホリデー、2005.4より論文集に「技術論文」新設、2005.12迄に技術報告廃止、三浦賞設置、標準事業表彰制度設置	38,635	2004年4月9日
83	2005	田口 裕也	政策財務審議会への移行、能力開発促進機構、産官学連携センターの組織改革決定、既存3組織(支部部門活性化委員会、技術倫理委員会、国際連携委員会)の直轄化などによる組織改革、Ladies' Association of JSME発足、分野横断的・新領域対応研究活動組織「法工学専門会議」設置、技術賞の国立科学博物館での展示、部門英文ジャーナル電子媒体発行実行開始(流体工学、熱工学部門)、優秀製品賞設置	38,661	2005年4月8日
84	2006	笠木 伸英	8月7日は機械の日・機械週間(8月1日～7日)の制定、組織改革(能力開発促進機構、新センター)による事業展開、論文エディター制度、WEB英文ジャーナル(紙媒体による英文誌の廃止、電子化登載)、MEMS設置、人材育成等の受託事業、マイページ作成、HPデザイン変更、会員名簿廃止と電子版検討等、論文投稿・校閲に関する倫理指針、同指針に違反した場合の調査委員会の発足と罰則規定の申し合わせ、投稿規定・校閲基準等の改訂、大学院修士修了者の正員化策実施、日本機械学会の組織運営の指針(ガバナンス強化)	38,880	2006年4月7日
85	2007	斉藤 忍	創立110周年記念事業(機械遺産、技術ロードマップ、記念式典、110周年誌など)、会員シニア活躍支援委員会(支部交付金、技術士養成講座、産学連携パートナーシップ受託など)、倫理規定改定、緊急タスクの制度設計、中越沖地震などへの対応、年次大会託児所設置、会員マイページ、電子会員名簿、事務局定年退職職員の再雇用制度確立、機械の日、機械週間全国活動の展開	38,403	2007年4月6日
86	2008	白鳥 正樹	ASMEのワシントンでGlobal Summit on the Future of Mechanical Engineeringで本会技術ロードマップを公表。一般社団法人移行を決定。イノベーションセンター設置決定(能力開発促進機構と産学連携センターの組織統合)。GPS規格受託の終了。国際チャプター、インドネシアセッション設置。会員シニア活躍支援事業、発電用設備規格委員会に対する外部支援、Jr.会友年齢引上、「会員の不正行為の調査・審理に関する規則」、「同会員処分に関する規則」の制定。	38,123	2008年4月8日
87	2009	有信 睦弘	和文論文集の電子移行細目決定。一般社団法人移行を総会決定(定款・細則、公益目的支出計画など)。スポーツ工学専門会議設置。国際チャプター、タイセッション設置。日本工学会の科学技術人材育成イノベーションセンター参画。COP15技術者会議(コペンハーゲン)で日本の意見を公表。倫理規定を基本にした、技術倫理委員会から会員へのメッセージ	37,457	2009年4月7日
88	2010	松本洋一郎	一般社団法人移行申請(定款、細則変更)、准員制度廃止決定、和文論文集を紙媒体から電子化登載(2011/1-)、医工学テクノロジー推進会議設置、マイクロ・ナノ工学部門設置承認、法工学専門会議設置期限延長承認	37,508	2010年4月23日
89	2011	佐藤 順一	東日本大震災対応調査提言分科会(7WG)、長期的提言調査分科会(4WG)設置、一般社団法人移行に伴う諸規定変更、特別員向け論文集アブストラクト発行、ASME/IMECHとの原発事故関連協力、代表委員会から前会長出席を外す。	37,163	2011年4月21日
90	2012	金子 成彦	東日本大震災対応調査提言分科会(7WG)と長期的調査提言第4WGの継続的活動と報告書作成、情報発信とエンジニアリングコミュニケーション検討臨時2WG設置。倫理規定変更、国際展開指針制定、学術誌再編、機械工学便覧DVD化方針決定。講演会原稿の著作権規定制定。就業規則・嘱託員就業規則(65歳化)等一部変更。2015WEC(世界工学会議)への協力。東南アジア(インドネシア、タイ、マレーシア、ベトナム)への諸活動。ASMEのPresidential Taskへの協力。三浦賞の継続(資金の提供)	36,566	2012年4月20日
91	2013	矢部 彰	学術誌再編開始、機械工学便覧DVD発行、シニア会通則制定、大震災に学ぶ工学のあり方提言、ロボメカ部門英文ジャーナルの出版社変更、財政健全化取組み、2015WEC(世界工学会議)への協力。東南アジア(インドネシア、タイ、マレーシア、ベトナム)への諸活動。	36,059	2013年4月19日
92	2014	久保 司郎	会誌8月号(機械工学年鑑)より、会員マイページで会誌PDFで閲覧可。名誉員選考基準の一部変更(基準点数UP等)。スポーツ&ヒューマンダイナミクスの新設部門化。創立120周年記念事業委員会設置。本会CPD制度廃止とCPD協議会脱退。広報理事を広報情報理事3名体制(編修1名減)、会誌編修部会を広報情報理事管下へ(細則変更)。代表会員選挙電子化(細則変更)。NIIの電子図書館終了。正味財産黒字化。代表委員会TV会議導入(2014/12/9)	35,407	2014年4月18日
93	2015	小豆畑 茂	会長方針策定と公開(Webにて和文を会員ログインページ、英文はトップページ)、若手の会発足、留学生ネットワーク創設、特別員訪問(東海、四国)、年次大会特別講演「魅力ある機械学会をめざして」、活動報告公開	34,731	2015年4月17日
94	2016	岸本喜久雄	会誌・WEBリニューアル、研究発表資格の会員限定化、学生会費値下げ、会長方針策定と公開(Webにて和文を会員ログインページ)、年次大会「ガバメントセッション」、特別講演「デザインは公共のために」、「九州を元気に！」	34,119	2016年4月21日